

今月の一笑

通勤川柳

- *通勤時座れぬ分は社で休み
 - *覗き見の方が堂々読んでいる
 - *超ミニの出会い無念の降り階段
- (花小金井市/奥村篤史)

~~~~~  
秋も深まり何かをする隣の人が気になる頃となりましたが、あまり気にせずにマイ・ペースで  
趣味に打ち込むと物になるような気分を感じる季節ではないでしょうか。

スポーツ良し、読書良し、旅行良しという訳で、何でも構いませんが好きなものに打ち込み  
つつジョークも一つ二つ覚えて、秋の会話の合間に入れてみましょう。思いがけない効果が出て  
楽しくなると思います。

今月も読者の方から多数のお手紙を頂きましたので、早速に披露したいと思います。

尚、変集協力スタッフの意見としまして、通信開始用或いは継続用の切手を送付して下さった  
方々及びカンパを送付して下さった方々の氏名を掲載してはどうか、という提案がありましたの  
で、協議しました結果、最終頁に当月受付分を記載することと致します。

これまで取材を受けたり、日頃何かとお世話になっているマスコミの方々には変集部から一方  
的に送ってますが、切手は今の所カンパ等によるストックがありますので、ご安心下さい。時々  
葉書や手紙が届くと原稿になりますので、ご協力頂けたら、それだけで十分ですので、宜しくお  
願い致します。

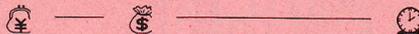
という所で、NHKの朝の「モーニングワイド」の経済デスク永利賢治さんからお葉書を披  
露させて頂きます。やや苦し紛れ(と思われる感じ)にジョークを交えて解説していましたので  
先月の伝笑鳩を送付しました所、早速にご返事を頂いたという次第です。

————— NHK報道局経済部 永利賢治 —————

楽しい会合の様子と会報を有難うございました。実際問題、私も毎日どうしたら経済情  
報に親しんでいただけるかと、胃がおかしくなるほど考えています。と申しますのも、「  
経済」と聞いただけで、チャンネルを代えられてしまうからです。ビジネスマンの方はそ  
うでも無いでしょうが、主婦や高齢者になりますと、すでに経済の経の字が出てきた瞬間  
に、もう駄目です。

実際には、私の様な雑駁な頭でも、なんとか理解できる範囲の事しかお伝えしていない  
のですが、皆さんなんとなくアレルギーなのではないでしょうか。そこで「ユーモアのある楽しい  
番組を」と考えまして、ときどき駄洒落を飛ばしたり、山下キャスターの笑いを誘ったり  
しています。

会報も読ませて頂いて、「なる程、金メダルが重くて、2度目は駄目だったか」と、妙  
に感心したり感じ入ったりしております。私は毎日2時半起床の生活ですので、残念なが  
らアフター5の会合には出席できませんが、今後とも読ませて頂きます。まずは御礼まで



————— 豊漁たたってさんまが下がり しのぶも気軽に食い捨てる (高木正明) —————

## お便りあれば何よりだ

とにかく手紙であれ葉書であれ頂く便りは何よりです。切手やカンパがあればそれよりです。

—— 川越市霞ヶ関（エッ！）北／岩城元 ——

いつもお便りありがとうございます。実は（言い訳ですが）このところ、めずらしく忙しくて欠席続き、相すみません。というのは、十月半ば本社が現在の六本木から築地に移ります。それに伴う雑事や番組の改編でちょっとバタバタしております。本日は言い訳のみにて失礼いたします。



〔朝日新聞のWE経済の編集長だった岩城さんには、ビジネスジョーク欄を創設して頂く等、大変お世話になりました。その欄も9月で終わり、少し淋しくなりましたが、他のコーナーや他紙や週刊読売もあります。頑張りたいと思います。尚、岩城さんは衛星チャンネルという会社で活躍中ですが、伝笑鳩の宛先を衛生チャンネルで送ってました。失礼しました〕

—— 千代田区／河内幾久江 ——

原稿集めたのがウソのよう……。今の盛況ぶりが伝わってきます。いつも忘れずに送って下さってうれしく思います。ますますレベルアップですね。今号(NO. 36)に田近伸和さんの名を見つけました。私もよく存じあげている方でエネルギーな行動力をお持ちです。では、又。



〔広い世間が狭くなる、ジョークサロンのありがたさ。縁は異なるもの味なもの〕

—— 富山市／石黒徹 ——

長いながあーい月給鳥（怠惰な）で屁（へ）もひらず、で来たために、キリリとしたジョークは依然として生まれず。ウーム、残念無念と、おじじは悲しむのでありました。でも、いつかは間違っ、屁ならぬフッフ・・・と人様に笑ってもらえるジョークもひょっとしたら・・・と、伝笑鳩、同巢会ジョークサロン一員（に加わるのみ）として、今後もお許し下さいね。

〔許します〕



—— 中央区／西井正 ——

“伝笑鳩” 毎度拝見させていただいております。毎度、秀作ばかりで感心しています。本当に5・9・6・3です。私は忙しさにかまけて最近プツリですが、そのうち……!? 期待して下さい……。今後も何卒4・6・4・9お願いします。

〔8・3・4・1・2・4・1・3・2・3・9〕

〔や・さ・し・い・に・し・い・さん・に・サン・キュー〕



来月はどんなお便りが届くか、楽しみにになりましたね。

- ◆読書の秋。久し振りにのぞいた都心の大型書店は、おびただしい人と本で埋まっていました。そして、びっくりしたのは辞書のコーナーのスペースと、そのボリューム。おそらく左右6.7mはあるかと思われる三段積みの書棚の前後（表側と裏側）に、ありとあらゆる字引、辞書、辞典のたぐいがぎっしりと並び、選ぶのに迷うのではないと思われる位でした。面白いのは「辞書の辞書」。この店では無料の「1992年版辞書・266選」という小冊子を置いていますが「辞典の小百科」（大修館書店）、「世界の辞書」（研究社）、「私が愛用する辞書・事典・図鑑」（一季出版）等々の参考書が並び、必要な辞書を探すときに便利であるだけでなく、雑学の仕入れや書店での時間つぶしにおすすめです。
- ◆[女へん]＝良い娘、眉で媚(こ)びれば、立つ妾。子が好きならば、家に嫁あり。[人べん]＝言(げん)を信じ、足で促す、立つ位。木で休みつつ、主(ぬ)は住むなり。[魚へん]＝春鱒(さけ)、秋が鰻(うなぎ)で、鱈(たら)は雪。冬は鯨(こじろ)、喜ぶは鱧(きり)——これは“ワープロ時代の画期的な漢和辞典”と銘打った「偏旁冠脚(へんぼうかんきゃく)の字典」（日本実業出版社）の各偏や旁(つり)の冒頭にある枕のコピーですが、昔の人はこのように口ずさみながら文字を覚えたのでしょうか。
- ◆また同じ辞書でも、郡司利男著「国語笑字典」（光文社）の中の[お化粧]＝あらぬ姿に塗る女、ありし姿に塗る女。[闇]＝あたしゃ、見ているよ。[嘘]＝知っているよ——男。知らないわ——女。さらに、すでに絶版になっているビックリハウス版・国語辞典「大語海」（パルコ出版）の中の[テレタイプ]＝はずかしがりやの人。[ダメージ]＝治療不可能の痔。  
[不毛地帯]＝アデランスの勢力範囲を示す地図——等々、こんな言葉あそびの字典を、休日のひととき、ワイン片手にチビリチビリ読(飲)んでいますと、1時間や2時間あつという間に経ってしまいます。
- ◆もっとも、こういうだらしのない読み手にとっては、東京都立大学教授の高山宏氏が、前掲「私が愛用する辞書・事典・図鑑」の中で述べておられる「……良くてきた事典の“これ見よ”項目を追って次々読み進むうちに夜が白々とあけそめているなんてことはしょっちゅう。ただ漫然と“あ”からばらばら読み始めて“わ”で終わることもある。平凡社“大百科事典”はこうして1年ちょっとで“読破”。妙な読み手だと自分でも思う」には、文字どおり脱帽のほかはありません。最後に、[事典]＝一つの言語の成長を阻止し、その言語を固定した融通の効かぬものにするため工夫された邪念のこもった文筆にかかわる装置。ただし本事典はきわめて有効な作品である。（A・ピアス著「悪魔の事典」角川文庫より）

《気休めに搭乗バッグへ電子辞書》



作者の  
ひとこと

このところ、お見せするような作品がありませんので、某誌（月刊技術専門誌・92年10月号）に掲載された小生の駄文（末尾には下手な川柳も付記。編集の都合で小生の署名はありません）を送付させていただきました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

秋はサンマの季節であると同時に、旅行シーズンでもあります。我がジョークサロン同人達もあちらこちらとお出かけですが、思わぬハプニングに見舞われたようです・・・

★月山・湯殿山・羽黒山いわゆる出羽三山に登るといって

「では」行って参りますと勇んで出かけたDさん、全行程が台風だったとかで「散々」だったと言って帰って来ました。  
(神山南朝)

★ 乗り物酔い

妻 「なんか車で酔ってきたみたい」  
夫 「いいなあ。お前はタダで酔えて」

(石井志津夫)



★ コミックどどいつ 宇宙編

宇宙実験毛利盛りこなす 鯉や蛙と無重力

(高木正明)



★バブルから生まれた物でも素晴らしいビーナスもあります。

先月、エーゲ海に浮かぶミコノス島に行って来ました。ヌーディスト村ではカッコイイ姿を見せつけられてしまい、まさに自然のままがいいと。でも道端で男同志でキスをしている光景を目にした時は、すこシアテネはずれた。



バルセロナ。こんな大きな都市でも英語が全く通じないこともある。

友人が切羽詰まって、「トイレ、トイレ！」と叫んでも通じない。そこで少しスペイン語を習ってきた俺の出番。「セルビシオ！」と恰好つけて言ってみたが、益々不思議がる。友人はボディランゲージとばかりズボンを下ろす振りをして、やっと分かってもらった。

相手の人曰く「おお、といれ」。

(ホテルに帰って調べたらセルビシオはビールのことで、トイレはセルビコだった)

(横山朝夫)



★「休みは休み休みに —— 山口記者殿」時事通信社・・・10/4付け週刊読売『玉手筈』

掲載作品

(奥村篤史)



★昔は列車の窓から大きく見えた姫路城もマンションの間から僅かに見えるだけだが、現場に着くと流石に巨大だ。城中一周だけで一時間かかる。城内には便所が無い。少し離れて和風便所があった。紙が置いてない。

壁に落書き —— 「汝のウンは自分でつかめ」

(長井敏)



★実用英語：時間を尋ねる時は「掘った芋いじるな」と言う。英語の「What time is it now?」

に聞こえるんだな、これが。

(印南博之)



石井志津夫・印南博之・奥村篤史・神山徹・曾田英夫・高木正明・長井敏・野本浩一・平井幸雄・平口一樹・平田レイ子・前田誠・門口泰宣・横山朝夫 \*下線の人は初参加

# 1. 平口さんは変集鳥の中学時代の同級生であります。

# 2. 前田さんは日本農業新聞社の論説委員で、印南さんのお知り合いです。

# ONE MORE アラカルト

お便りやら例会参加者の作品やら何やらかにかにやら、ほんの少しづつ披露させて貰いますが・・・

— 酒の十得 ひらいたかお —

のんべいによる、のんべいのための飲む口実

①百薬の長 ②長寿の元 ③愁いを払う玉簪  
④食欲増進剤 ⑤旅の道ずれ ⑥寒気の衣  
⑦贈答の便 ⑧ナイトキャップ  
⑨万人和合剤 ⑩独居の友

〔とにかく楽しく飲むが一番〕



— 味覚の秋 石井志津夫 —

「どうして、マツタケは買わないで見ただけなの？」

「見覚の秋って言うだろ」



— 『如是我聞』 神山南朝 —

借りる借りるで金だけとって  
返す気はない恐ロシア

— 京都市／広川友雄 —

妻「この間、注文したおニューの掃除機はもう着いてもいいわよね」

夫「そう、じきね」

〔そう言えば、あるお母さんが子供が悪さをした時に『正直に誤りなさい』と、言った所、子供が『ごめんなさい』と、掃除機に向かって言ったというのがありましたね。こういうのが笑えますね〕

— 島田市／曾根一壽 —

先日、歯科医夫人に車をぶつけられました。修理代金と代車を請求した所、夫人は代車を外車と勘違い。「外車でも国産でも、好きな車をどうぞ、お金は出します」と言われ、つつい笑ってしまいました。相当緊張したので笑、やはり。



— お詫び と 勧誘 —

11月の例会で一泊旅行を計画しましたが、諸般の事情により中止。通常の如く、内神田社会教育館8F集会室で行い、その後飲み会とします。11月27日(金)です。



伝笑鳩No.37

発行 1992.10.23

変集鳥 野本浩一

変集協力 曾田英夫／神山徹  
門口泰宣／石井志津夫  
平井幸雄／高木正明

発行所 同巢会ジョークサロン



切手・カンパ受領者一覧(敬称略)

1992.9.25～1992.10.18

川越市／岩城元・中央区／西井正  
千代田区／河内幾久江・富山市／石黒徹  
京都市／広川友雄・京都市／牟禮丈夫